2019　年度　　授業概要

科目名		靴適合演習			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間　（1単位）	配当学年・時期	整形靴科1年			必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

靴製作Ⅱで底付け手前まで製作した短靴の底付け・仕上げを行う。スリッパで製作したウェッジソールではなく、今回はブロックヒールタイプの底を製作する。また、製作した靴についてプレゼンを行い、自分の製作物を他者にアピールし、また他者の製作物を評価する経験を得る。さらに、製作した靴を用いて適合の評価方法を学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

まず講師が製作のデモンストレーションを行い、その後、学生は次の工程のデモンストレーションまでに製作を進めていく。製作途中、または完成後に講師がチェック・評価を行う。製作完了後、各自の製作物についてコンセプトや工夫点を紙面に表し、プレゼンしあう。その後、講師が適合のチェックポイントを講義し、それぞれが製作した靴の適合を全員でチェックすることで適合の確認方法を学ぶ。

〔講師の実務経験〕

鈴木義肢装具株式会社にて義肢装具士として医療用整形靴・足底板の採型・適合を含む病院営業、整形靴・足底板製作を含む義肢装具製作に従事。靴工房ハンザワにてオーダーメイド靴製作、整形靴製作に従事。ザニテーツハウスポスクにて義肢装具士として病院営業と一部製作業務を担当。特に、整形靴の採型・木型製作・製甲・底付け・適合業務、足底装具製作、下肢を中心とした義肢装具に精通している。

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

①足の状態及びデザインに合わせたミッドソールの選択と製作ができる
②ブロックヒールタイプの底付けができる
③靴完成後の仕上げの工程を修得する
④製作した靴の適合ポイントを押さえ、適切な評価、微調整ができる
⑤自分の製作物を他者に効果的にプレゼンすることができる
⑥他者の製作物から自分とは異なる感性を学ぶことができる

回数	講義内容
1	底付け
2	底付け
3	底付け
4	底付け
5	底付け
6	仕上げ
7	仕上げ
8	仕上げ
9	仕上げ
10	仕上げ
11	木型抜き／トップカバー貼り
12	製作物のプレゼン
13	適合時のチェックポイント／クラスメイトの適合チェック
14	クラスメイトの適合チェック
15	クラスメイトの適合チェック

【　準備学習・時間外学習　】

【　使用テキスト　】

書籍名	著者名	出版社
整形靴の基礎知識		JESC

【　単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）　】

試験素点（ﾚﾎﾟｰﾄ・小テストなども含む）
詳細･･･毎回の授業での形成評価　提出期限の厳守